

【ACKグループがオリエンタルコンサルタンツホールディングスへ
野崎社長「ブランド価値を高め、社会価値創造企業へ」】

オリコン
「ACK
グループ」が
オリエンタルコンサルタンツホールディングスへ
野崎社長 「ブランド価値を高め、社会価値創造企業へ」



野崎社長

オリエンタルコンサルタンツの親会社、ACKグループは、昨年12月25日にオリエンタルコンサルタンツホールディングスと社名変更した。オリエンタルコンサルタンツホールディングスおよびオリエンタルコンサルタンツの代表取締役を兼任する野崎秀則社長に持ち株会社の社名変更、および今後について聞く。

野崎社長 オリエンタルコンサルタンツは1957年に創業、2006年には持ち株会社を設立し、「ACKグループ」の商号でオリエンタルコンサルタンツを含むグループ会社6社を束ねて来た。ただやはり60年以上の歴史のある名前は社会的認知度が高い。企業の

ブランド価値を一層高め、ブランド価値を高めるためにも、広く認知されている社名とした。

野崎 ブランド価値が高まれば、競争力も上がる。それに建設コンサルタンツを志す優秀な若手にもアピールできると思う。人材確保が難しい現在、働き方改革を進めて、若い人材に魅力を感じてもらえる職場環境を整えてきたが、就職活動をする学生達にとっては

——社名変更の効果は高いとお考えですか
野崎 ブランド価値が高まれば、競争力も上がる。それに建設コンサルタンツを志す優秀な若手にもアピールできると思う。人材確保が難しい現在、働き方改革を進めて、若い人材に魅力を感じてもらえる職場環境を整えてきたが、就職活動をする学生達にとっては

——今後の見通しを
野崎 持ち株会社を設立した2006年以来、2011年を除けば、売り上げはグループ全体で、ほぼ右肩上がりです。長を続けて来た。社会インフラ整備に携わることで、「安全・安心・快適・活力」を社会に提供してきたが、今後も「社会価値創造企業」として、更なる発展を目指す。